【後編】Wordpress カスタマイズ設定

■ 著作権について

このレポートは著作権法で保護されている著作物です。下記の点にご注意戴きご利用下さい。
このレポートの著作権は株式会社グランツフォースに属します。
著作権者の許可なく、このレポートの全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。
このレポートの開封をもって下記の事項に同意したものとみなします。このレポートは秘匿性が高いものであるため、著作権者の許可なく、この商材の全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。

著作権等違反の行為を行った時、その他不法行為に該当する行為を行った時は、関係法規に基づき損害賠償請求を行う等、民事・刑事を問わず法的手段による解決を行う場合があります。
このレポートに書かれた情報は、作成時点での著者の見解等です。著者は事前許可を得ずに誤りの訂正、情報の最新化、見解の変更等を行う権利を有します。
このレポートの作成には万全を期しておりますが、万一誤り、不正確な情報等がありましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。
このレポートを利用することにより生じたいかなる結果につきましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。

【推奨環境】

このレポート上に書かれている URL はクリックできます。できない場合は最新の AdobeReader をダウンロードしてください。（無料）
http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/readstep2.html

■ 目次

■ 著作権について 1

■ 目次 2

■ はじめに 4

■サイトマップ表示（人間用）PS Auto Sitemap 4

■ サイトマップ（ロボット用）Google XML Sitemaps 11

■ 様々なビジュアルを実装　Shortcodes Ultimate 29

- ■ このプラグインの使い方 30
- ■ ノート 32
- ■ ボックス 35
- ■ ハイライト 37
- ■ ラベル 37
- ■ リスト 38

■ あらかじめタグを登録しておける AddQuicktag 40

- ■ 自分で手動でタグを追加したい場合 45
- ■ AddQuicktag の使い方 47

■ Wordpress の SEO 対策に有効な All In One SEO Pack 48

- ■ All in One SEO Pack の使い方 52

■ インストール済みプラグインに出てくるリストについて 56

■ プラグインのアップデートについて 57

■ プラグインはあくまでも補助的なもの 60

■ はじめに

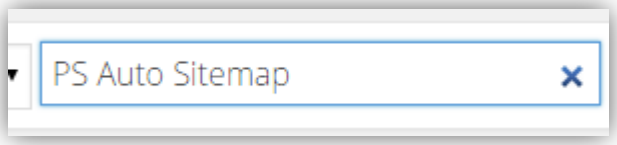
WordPress カスタマイズ設定の前編が終わり、これから後編に入ります。
後編では、
・使い方に説明が必要なプラグイン
を集めていますので、サイト運営時にも「これどう使うんだったっけ？」などの振り返りにお使いいただけます。

また、
・設定が難しいプラグイン
も後編に登場しますので、焦らず慎重に行っていきましょう！

■サイトマップ表示（人間用）PS Auto Sitemap

ダッシュボード→プラグイン→新規追加

右側のプラグインの検索という欄に、PS Auto Sitemap を入力してください。



入力したらそのままエンターキーを押して検索します。

検索で見つかったら　「いますぐインストール」をクリックします。
インストールが完了したら「有効化」をクリックしてください。

サイトマップとは、サイト内の構成を一覧表示して見やすくしている案内のページ（目次のようなもの）を指します。
これには２種類あり、人間用とクローラーロボット用があります。

検索エンジン上のクローラーロボットは常にいろんなサイトを巡回しており、この中で新しいページがないか、どのページからどのサイトにリンクが貼られてつながっているか。などの情報を見つけています。

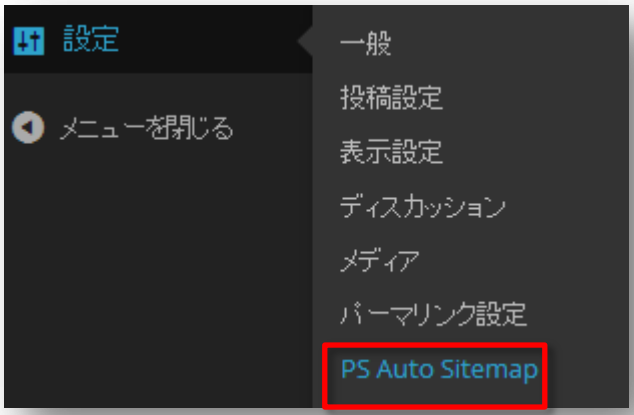
ただ、ロボットだからと言って、
構築したすべてのページを発見してくれるとは限りません。

それは人間であってもロボットであっても
見やすい目次のようなものがあった方が、サイト内がどのようになっていて
どことどこがつながっているのかということがわかりやすいのです。

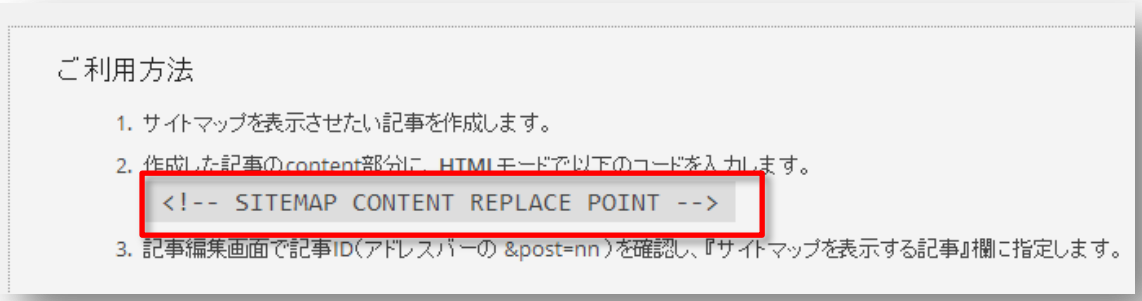
そこで私達は人間用とロボット用にサイトマップを用意する必要があります。

今回は先に人間用のサイトマップを表示するプラグイン
PS Auto Sitemap をご紹介しますね。

設定　→　PS　Auto Sitemap　をクリックします。



この部分をコピーします。



固定ページ　→　新規追加をクリックします

＊この時必ずテキストモードで投稿してください。

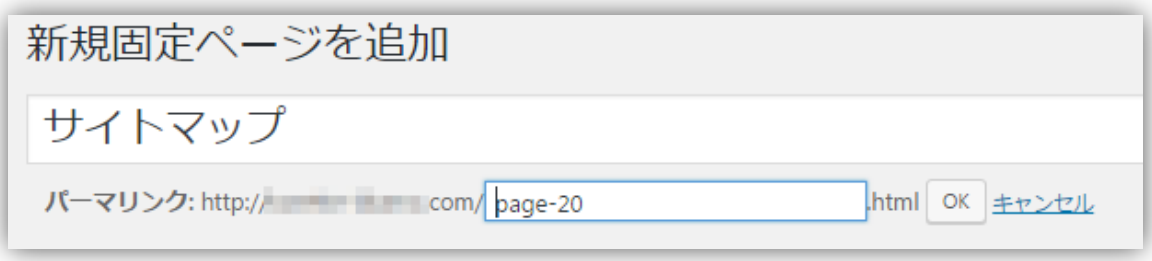
右側のタブの、テキストという部分をクリックします。

タイトル：サイトマップ

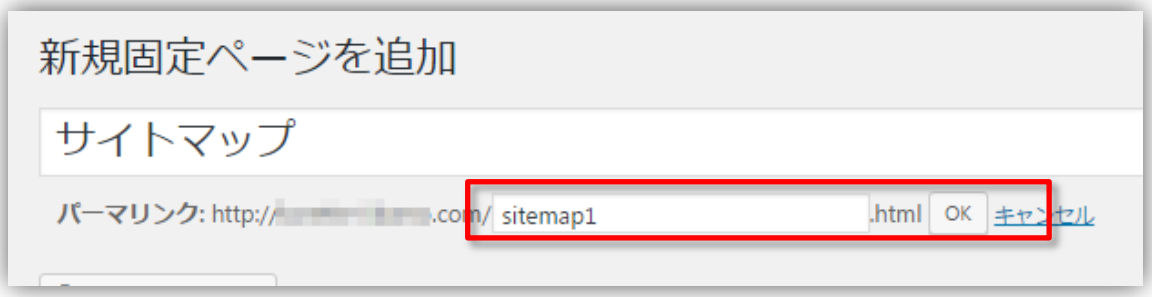
本文のところに先ほどコピーしたソースを貼り付けます。

ソースを貼り付けて、ENTER キーを押すと、パーマリンクの編集画面が出現します。編集ボタンを押してください。

以下のように編集できる画面になるので、ここを　sitemap1
というような文字列にしておきましょう。
（sitemap という文字だけにしてしまうと、後で生成するロボット用の
サイトマップ URL とかぶってしまい、うまく生成できなくなってしまいます
ので、こちらは　sitemap1 など、sitemap の後ろに数字を入れるなどして、
違う文字列にしておきましょう）



以下のように文字列を変更して　OK ボタンをクリックします。



その後、右側の公開ボタンを押して　投稿します。

公開しましたら、上のアドレスバーにて URL をチェックします。

※サイトを表示せずに、管理画面上（編集画面上）のアドレスバーの URL をチェックしてください。

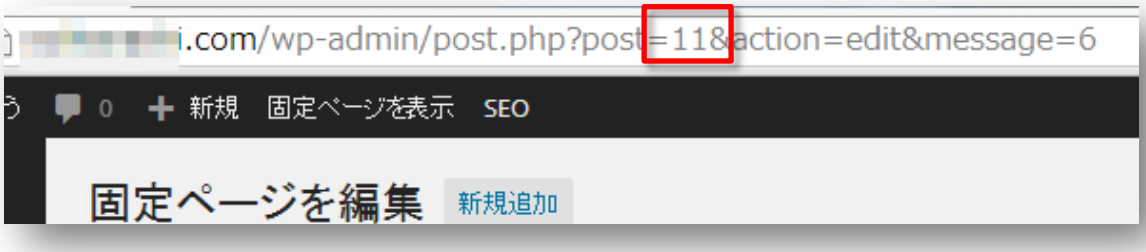
その中に　?post=○&　・・・・　という部分があると思いますが、

この○に当てはまる数字部分が

記事 ID になります。

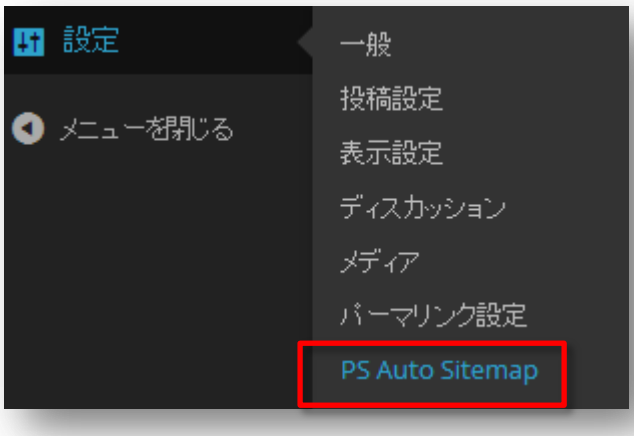
この例の場合で言えば、11 が記事 ID になります。

この時の記事 ID の数字を覚えておいてください。



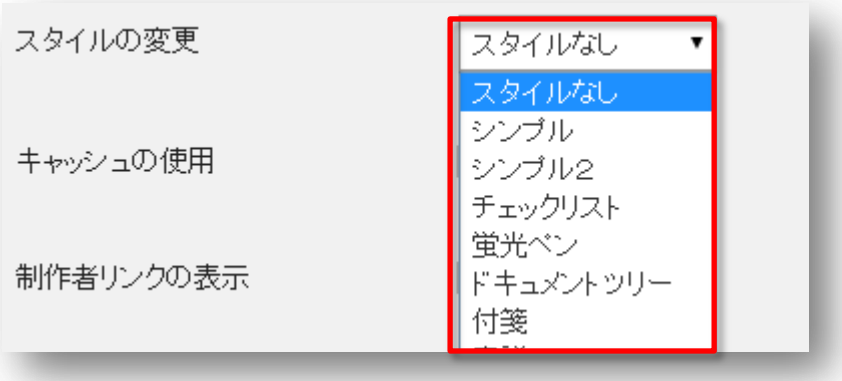
サイドバーの

設定→　PS Auto Sitempap　をクリックします。

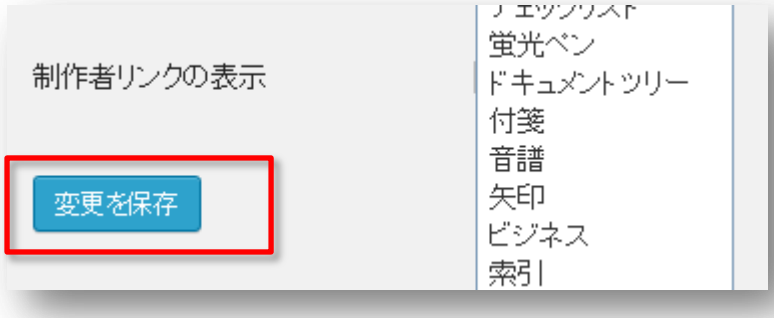


サイトマップを表示する記事のところで、先ほど覚えておいた記事 ID の数字を入力します。

スタイルの変更で、見た目のデザインを選ぶこともできます。



設定が終了したら、最後に「変更を保存」を押します。

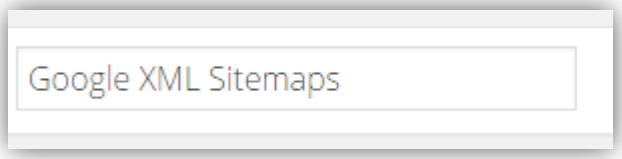


■ サイトマップ（ロボット用）Google XML Sitemaps

ダッシュボード→プラグイン→新規追加

右側のプラグインの検索という欄に、Google XML Sitemaps

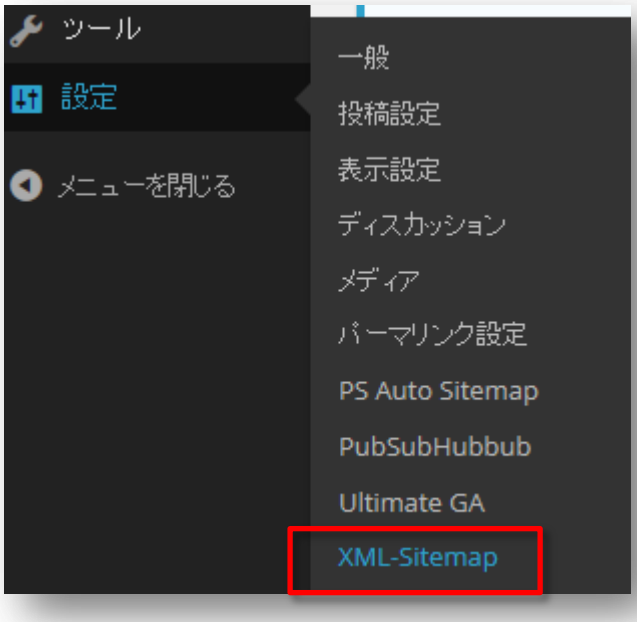
を入力してください。



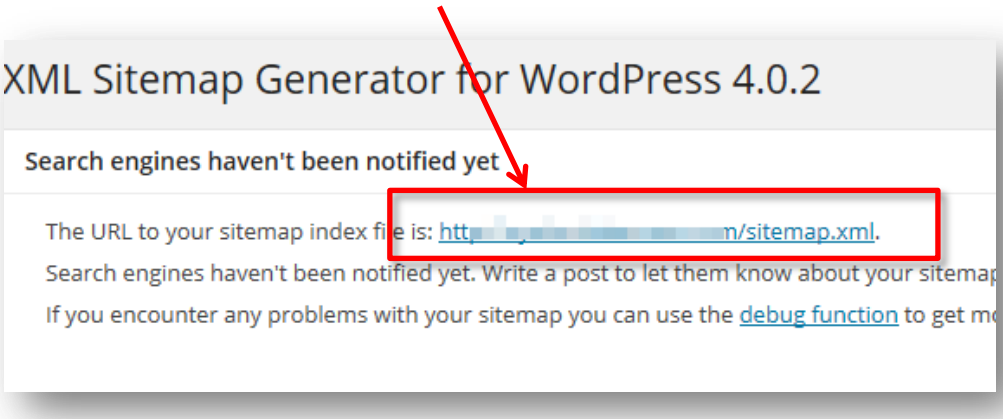
入力したらそのままエンターキーを押して検索します。

検索で見つかったら　「いますぐインストール」をクリックします。
インストールが完了したら「有効化」をクリックしてください。

先ほどは人間用のサイトマップ作成でしたが今度はクローラーロボット用の
サイトマップの作成方法のご紹介です。
設定→　XML Sitemaps　をクリック

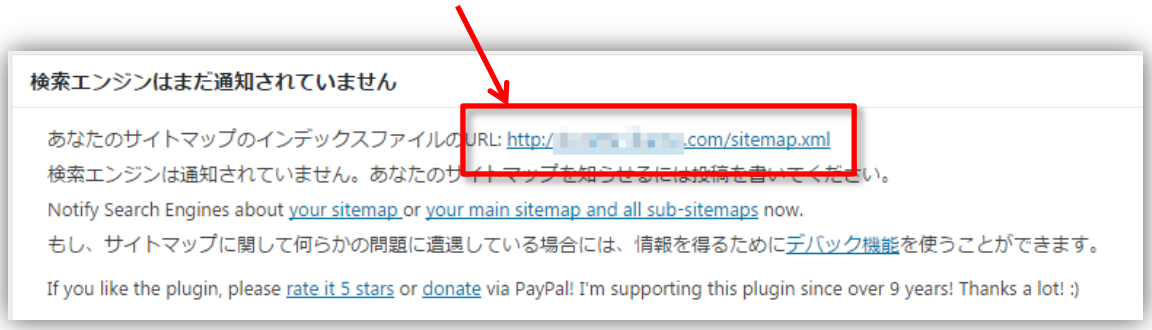


こちらのリンクをクリックします。

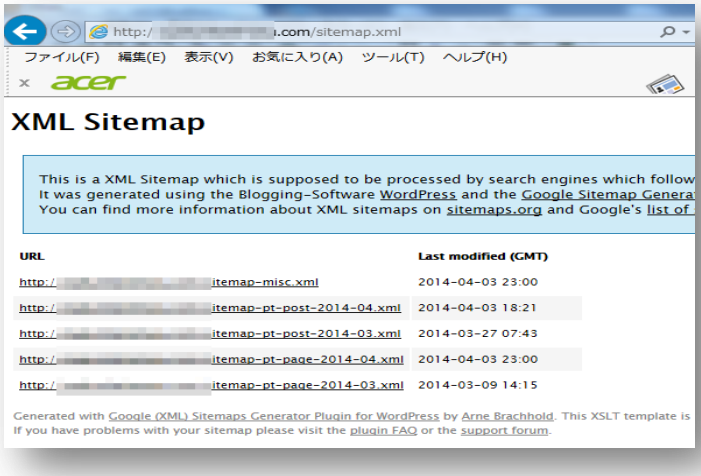


日本語で表示されると、このように出てきますので、

こちらのリンクをクリックします。



このような表示が出てきたら完了です。



ここで生成されたサイトマップは　sitemap.xml　というファイルになります。

サイトマップの生成ができたら次はサーチコンソールにログインします。
グーグルアカウントでログインしますが、ここでログインする Google アカウントは、後に設置する、アクセス解析「GoogleAnalytics（グーグルアナリティクス）」と同じグーグルアカウントで統一してください。

＊まだグーグルアカウントをお持ちでない場合は、準備編の
Google アカウント開設方法をご参照いただき、
アカウント開設を行ってください。

サーチコンソールにログインします。
https://www.google.com/webmasters/tools/?hl=ja

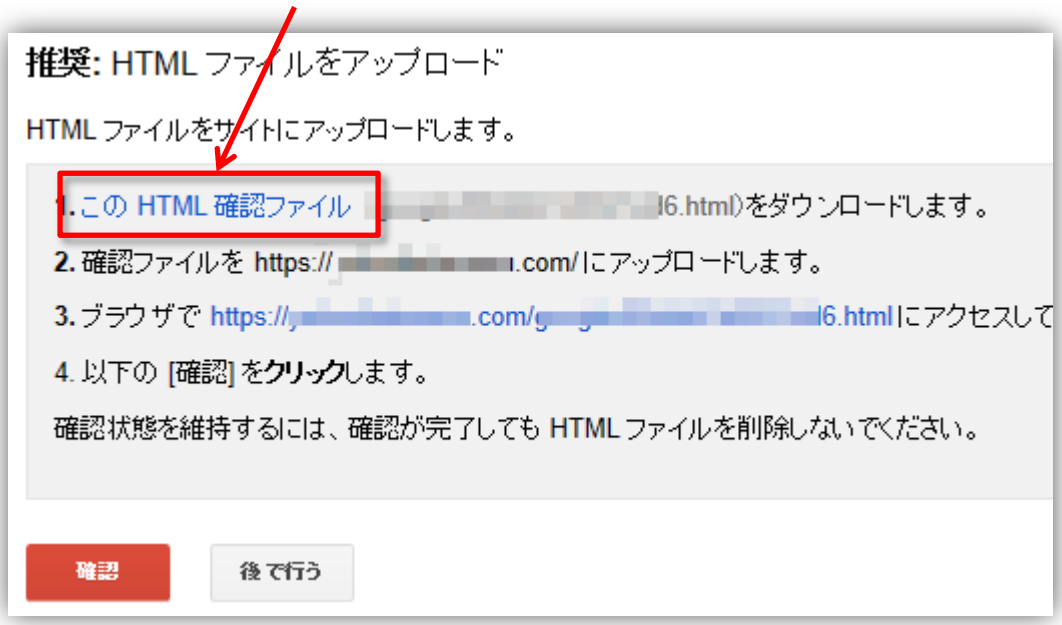
プロパティを追加ボタンをクリックします。

https 形式の、サイトの URL を入力します。最後にスラッシュを付けます。
入力したら、追加ボタンをクリックします。

※※　ここから以下が多くの人がつまづきやすい箇所になります。※※
しっかり説明を読みながら、ゆっくり落ち着いて行ってください。

１，**「この HTML 確認ファイル」　をクリックし、ダウンロードします。**

※クリックは、必ず１回のみです。何度もクリックしないようにしてください。



※※ダウンロードしたファイルは開かなくて良いです。ファイルをクリックしないでください。

ダウンロードできたかな？　できていないかな？　ということは、ここでは心配しなくていいので、先ほどのリンクを１度クリックしたのであればそのまま気にせず、次の手順に進んでください。

２，次に、契約済のエックスサーバーにログインします。

ログインしたら、こちらのファイルマネージャーにログインします。

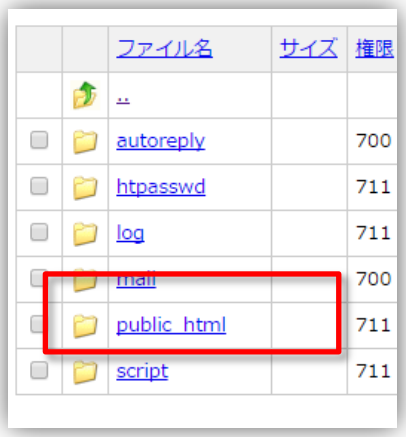
＊ここでは、マニュアル推奨の X サーバーの例で説明します。サーバーが違う場合は、画面も違い、WordPress の入っている場所も違いますので、同じようにはならないのでご注意ください。

今回の WordPress を入れているサイト URL が書かれているフォルダを見つけてください。

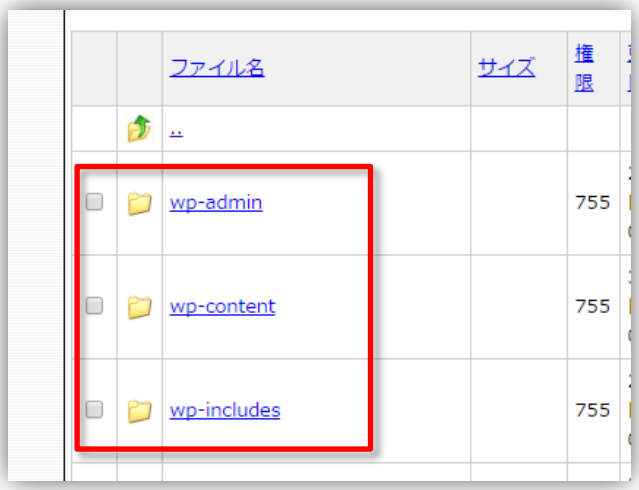
URL 部分をクリック（もしくはダブルクリック）して開きます。

次に　public_html と書かれているところをクリック（もしくはダブルクリック）して開きます。

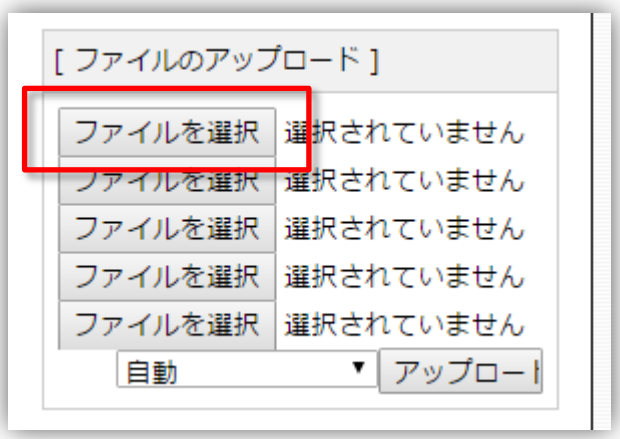
（X サーバーには　public_html フォルダがありますが、他のサーバーにはありません。他サーバーの場合は、WordPress ファイルが入っている場所へアクセスしてください）



そうしますと、このように　wp-admin、wp-content　などという名前のフォルダが入っています。
これがあれば、WordPress のファイルが入っている場所なんだなという確認が取れます。
（ここは確認だけで、これらのファイルに対して何もしなくて良いです。）

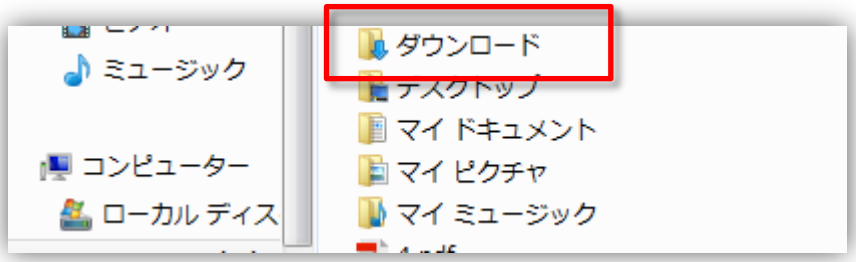


次に右側の　ファイルのアップロードというところでファイルの選択をクリックします。

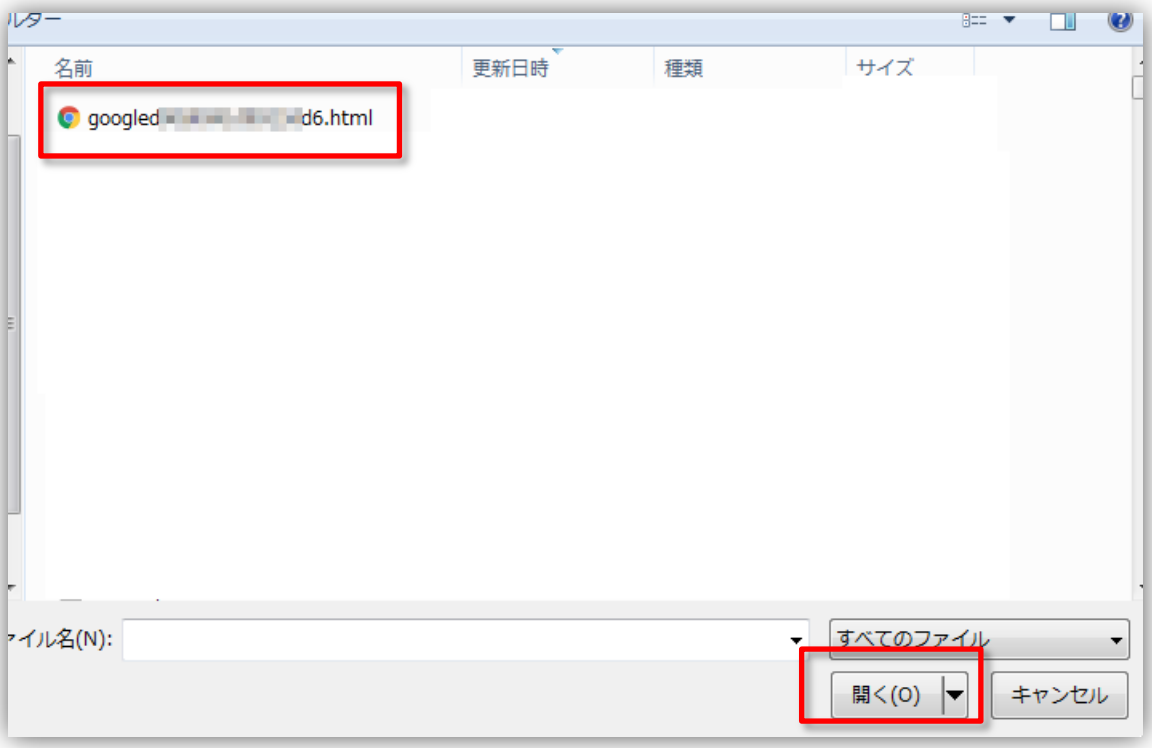


先ほどダウンロードした、google**********.html　　ファイルを選択します。

先ほどダウンロードした時に何もしていなければ、ダウンロードというフォルダに入っていると思います。



先ほどダウンロードした、google**********.html　　のファイルを選択し、開くボタンをクリックします。



※無事にファイルが見つかった方

→　次に**こちら**へ進んでください。

↑　ここからクリックして次の STEP へお進みください。

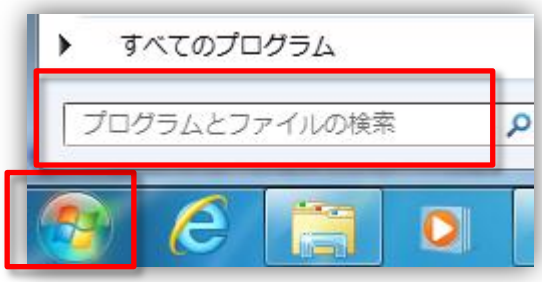
※ファイルがどこにも見あたらない方

→　ここから以下の説明を読み進めてください。

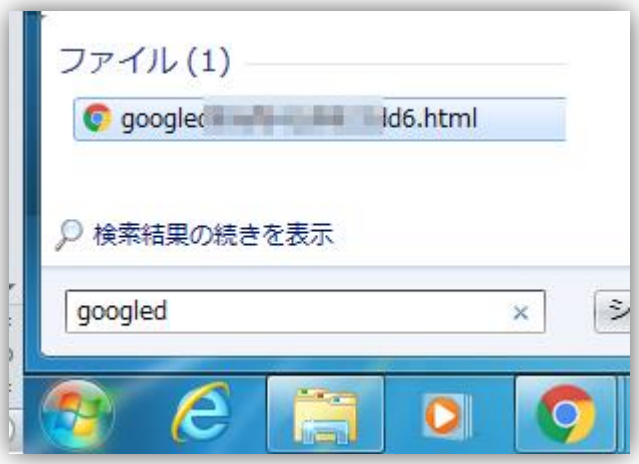
ダウンロードフォルダの中に google**********.html　　のファイルが見当たらないという場合、PC 内でファイル検索が出来ます。

Windows の場合でお伝えしますと、　左下にある Windows ボタンをクリックします。

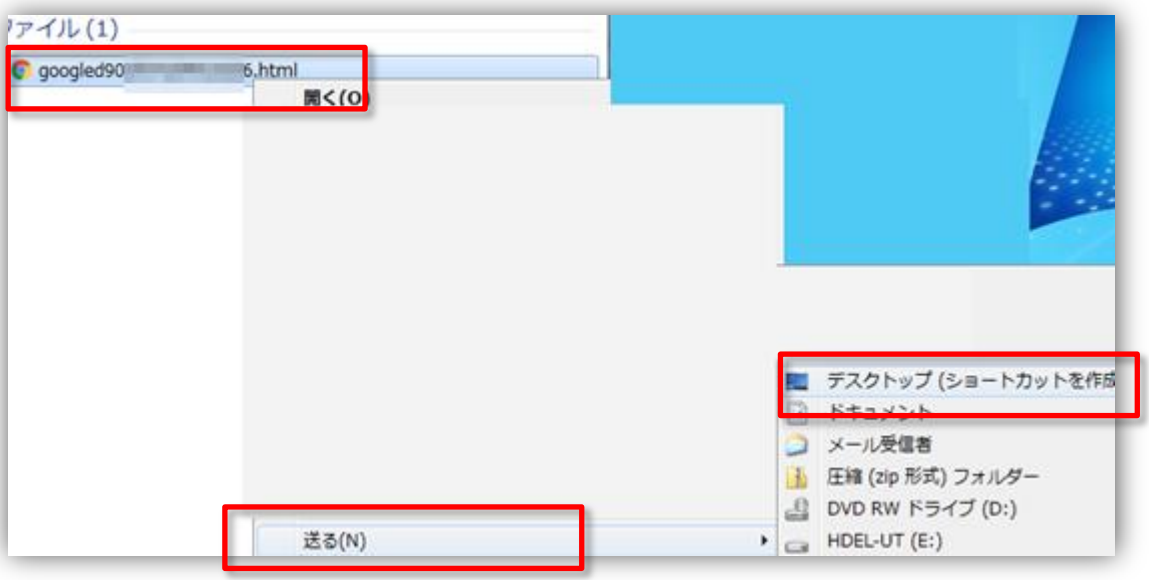
そうしましたら、プログラムとファイルの検索
という欄がありますので　google と入力してみてください。



そうしますと、以下のように検索結果でファイルが出てきます。
（PC によって見た目のアイコンは違いますが気にしないでください）

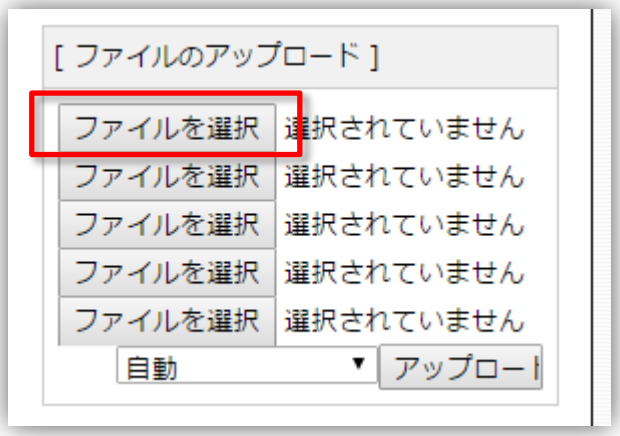


ファイル名の上で右クリック→　送る　→　デスクトップ（ショートカットを作成）
をクリックして、　デスクトップにファイルを移動しておきましょう。
そうすることでファイルのある場所がデスクトップにあるということでわかりやすくなります。

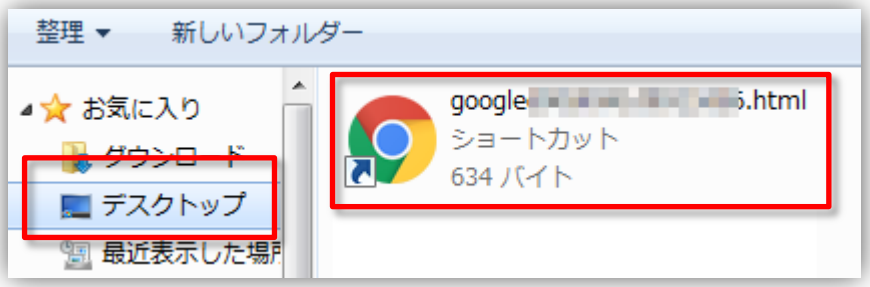


デスクトップにファイルを移動できましたら、
ファイルのアップロードをしていきます。

ファイル選択をクリックします。



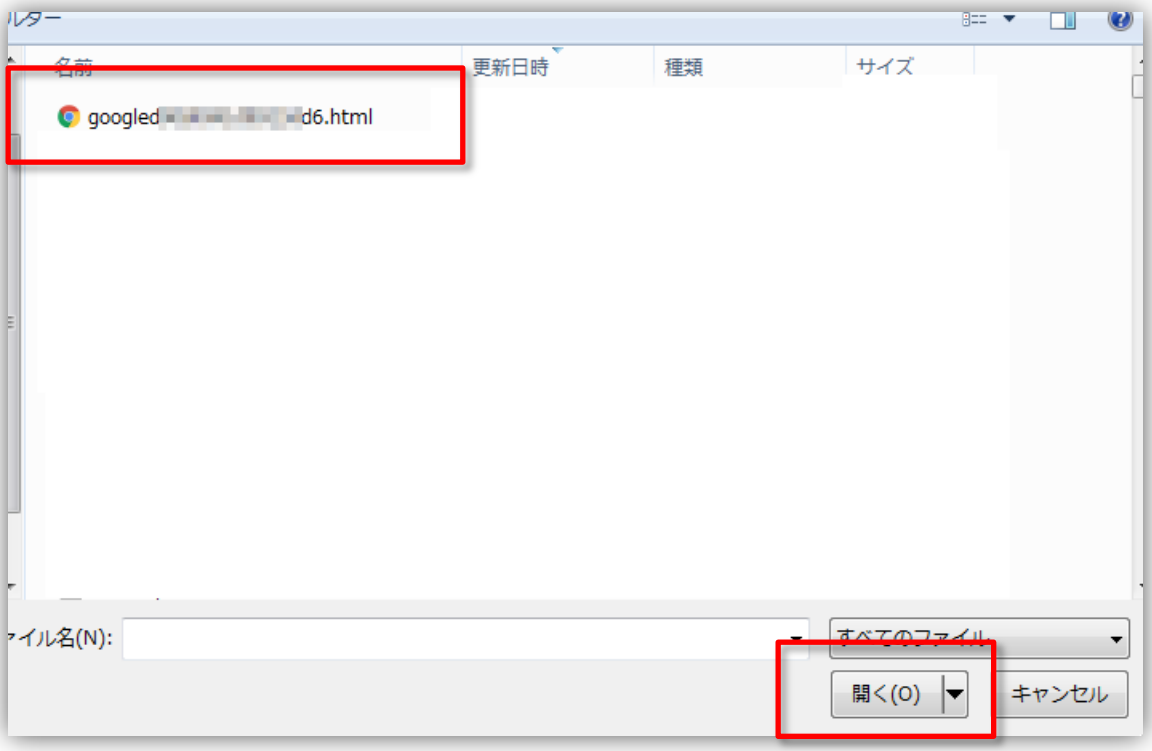
場所はデスクトップをクリックすると、先ほど移動したファイルが見つかります。



見た目のアイコンはお使いのパソコンによって違いますので、この画像と見た目が違っても気にしないでください。

■ファイル選択後、アップロード

ファイルを選択したら、開くボタンをクリックします。



※ここで必ず確認して欲しいことがあります。

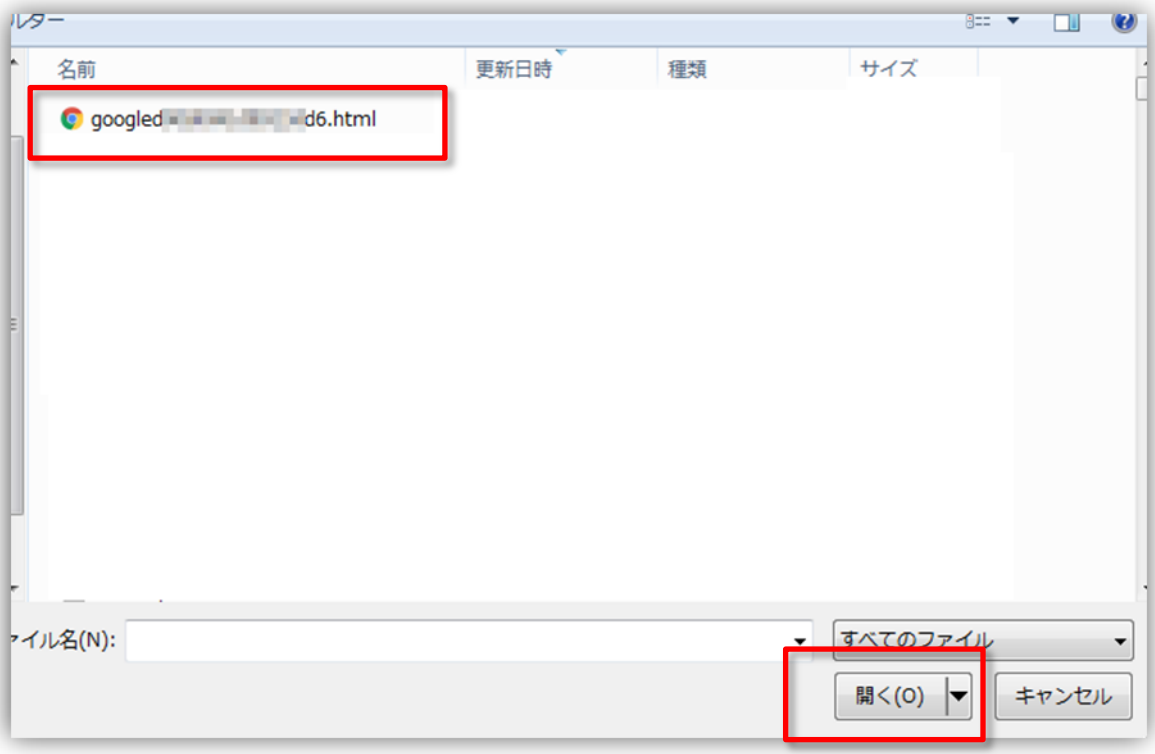
ファイル名の文字列について、よくやってしまうケースとして、先ほど、
ファイルをダウンロードした際に
クリックを１回のみではなく、何度かクリックしてしまうと、
１回目のクリック（１回目のダウンロード）では
google**********.html

２回目のクリック（２回目のダウンロード）では
google**********.html (1).html
のようにファイルの名前に(１)が付き、クリックしてダウンロードするごとに、
ファイル名が変わったものが生成されてしまいます。

間違えて、google**********.html (1).html
のような、かっこのついているファイル名を選択していないか、注意して見てください。　もし、（１）など、かっこのついているファイル名しか見当たらない場合は、ファイル上で右クリック→名前の変更
という手順でファイル名を編集し（1）を消して正しい表記にしてから選択してください。

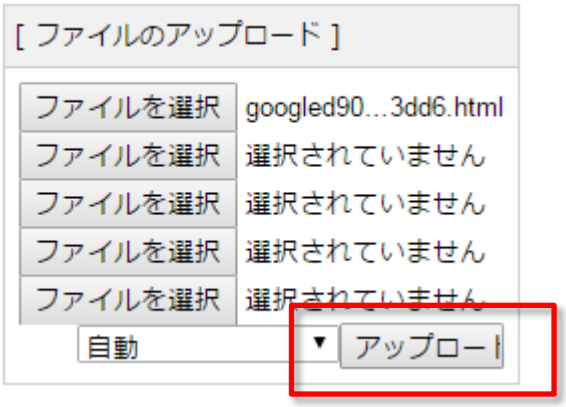
元：google**********.html（1）.html
修正後：google**********.html

長い文字列の後に半角でドット html　です。　（ .html ）

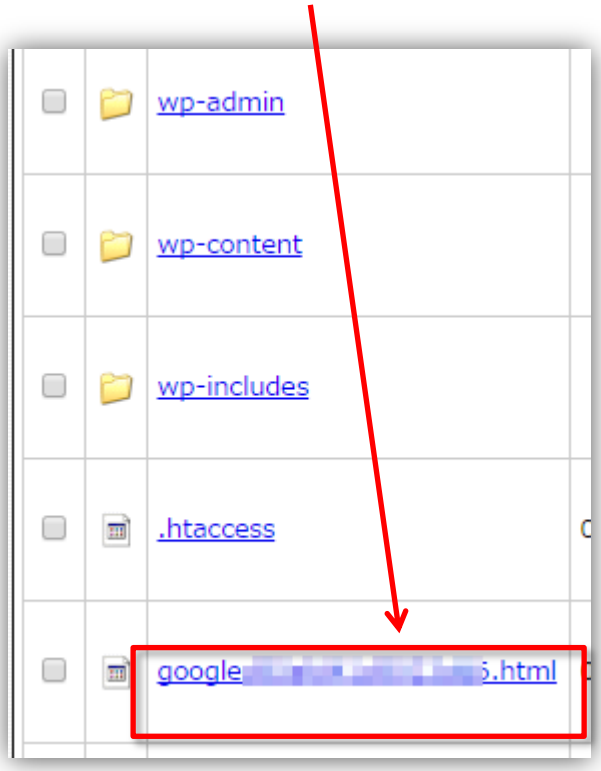


先ほどのファイルが見つかり、ファイル選択をして「開く」を押したら、

以下画面同様、ファイル選択の横に、google**********.html　が選択されているのを確認し、アップロードボタンをクリックします。

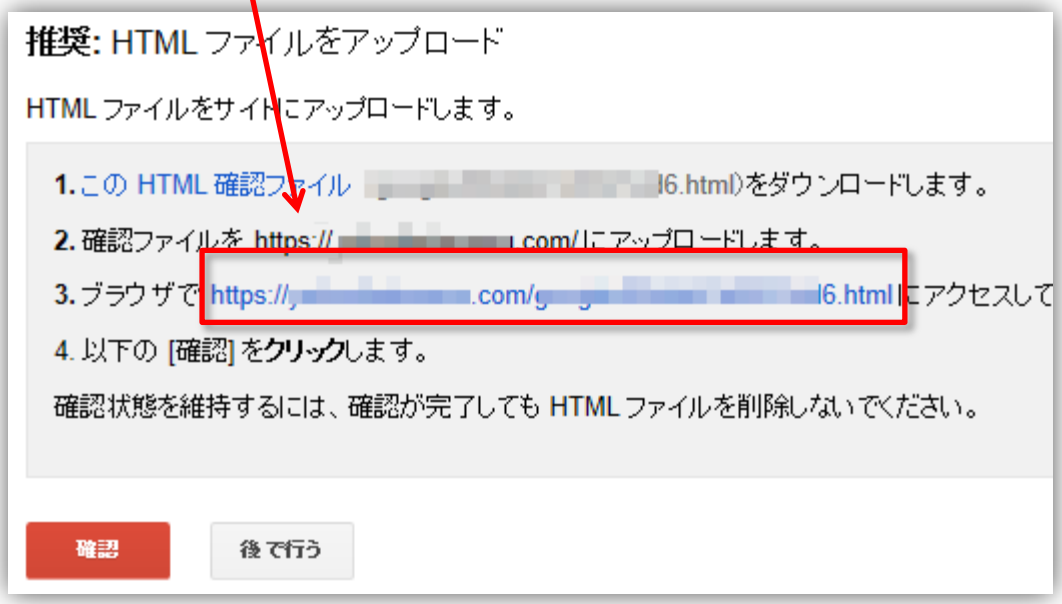


そうしましたらこのように、アップロードされました。



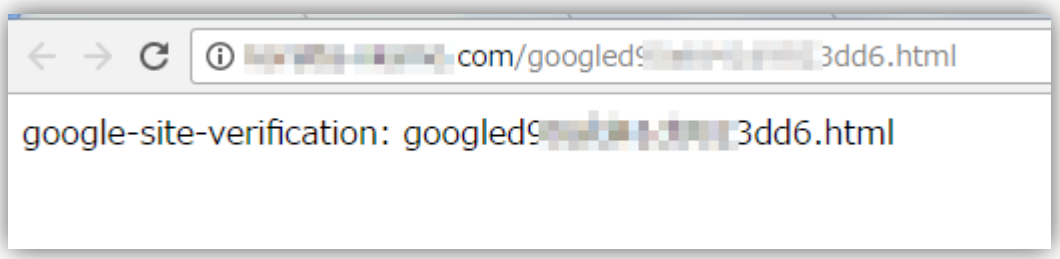
３，先ほどのサーチコンソールの画面に戻ります。

https://　にアクセスして、　の部分をクリックします。



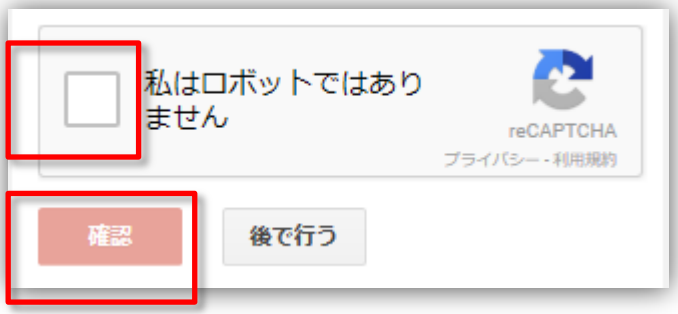
そうしますと、以下のような画面が表示されます。

※わかりにくいですが、真っ白な画面の左上に１行の URL 文字列が
表示されるだけです



google-site-verification: googleXXXXXXXXXXX.html

このように表示されましたら OK ですので、その後
私はロボットではありません　にチェックを入れ、確認ボタンを押します。



＊チェックを入れたのに確認ボタンがグレーのままで変わらない
という場合は、ブラウザを変えてみることをためしてみてください。
例えば、普段 IE であれば、クロームを使う。　普段クロームであれば IE を
使うなどです。

所有権が確認されました。の表示が出たらサイト URL 登録完了です。

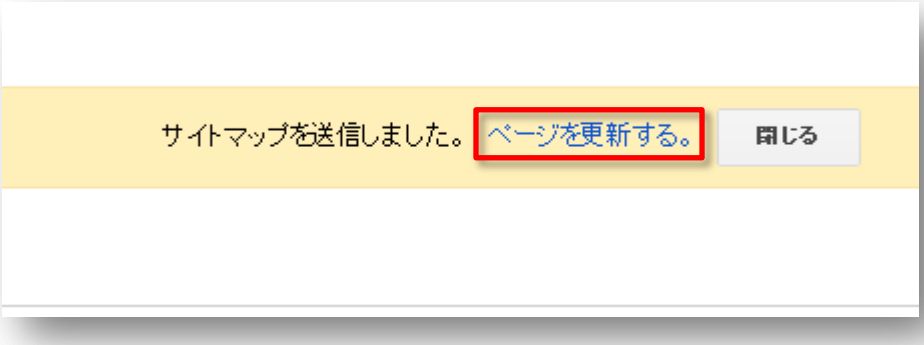
続行をクリックします。

サイトマップをクリックします。

サイトマップの追加／テストをクリックします。

sitemap.xml というファイル名を入力して、送信ボタンをクリックします。

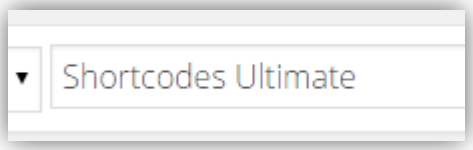
「ページを更新する」をクリックします。



■ 様々なビジュアルを実装　Shortcodes Ultimate

ダッシュボード→プラグイン→新規追加

右側のプラグインの検索という欄に、Shortcodes Ultimate を入力してください。



入力したらそのままエンターキーを押して検索します。

検索で見つかったら　「いますぐインストール」をクリックします。

インストールが完了したら「有効化」をクリックしてください。

■　**このプラグインの使い方**

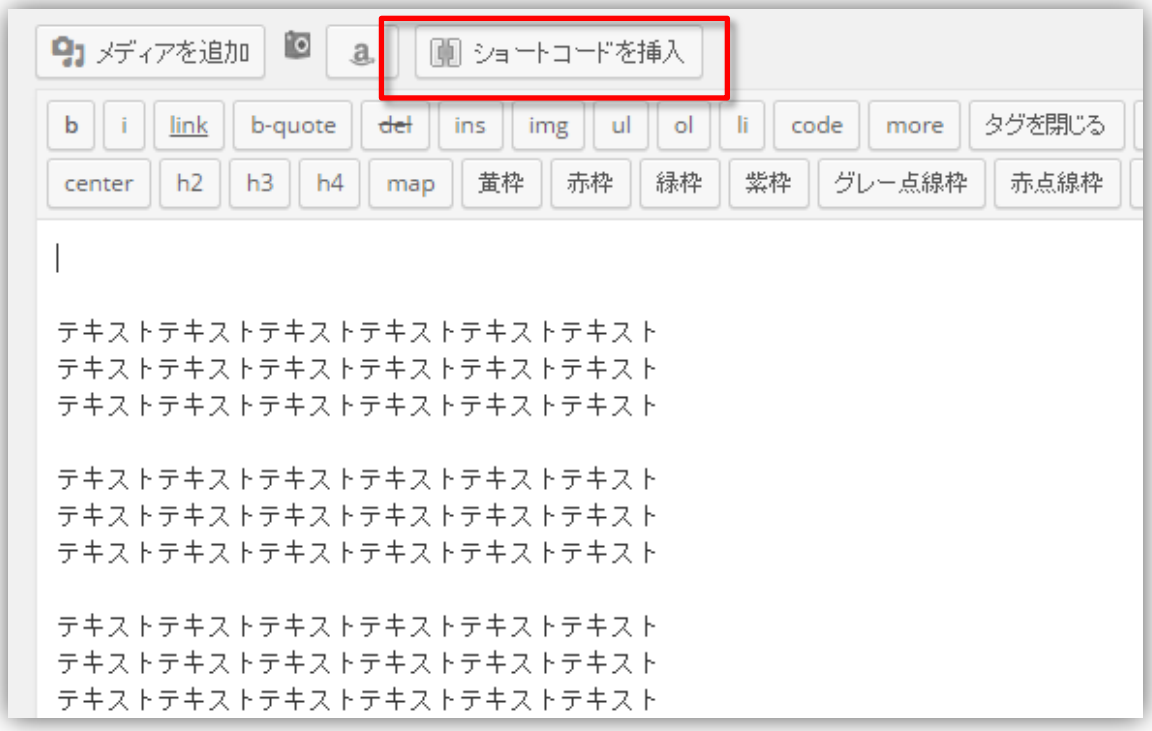
※インストール段階では、ここから以下の部分はやらなくて良いです。
　記事を書く際に装飾として使うプラグインですので以下に使い方を記載します。最初のインストール段階では同じことをやる必要はありませんので、
　次のプラグインインストールにお進みください。

以下からは、Shortcodes Ultimate の使い方を説明します。

このプラグインは、記事の中に文章の囲み枠をつけたりボタンやアイコンを貼り付けたような装飾が簡単にできるようになるプラグインです。

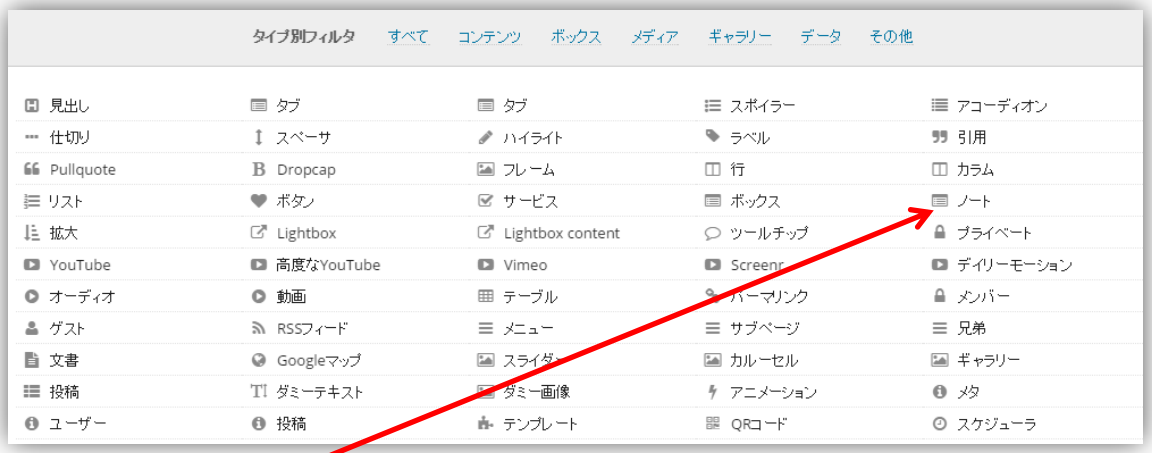
デフォルトの状態でも十分使えますが、人によってはカスタマイズして使うこともできます。

（Shortcodes Ultimate が有効化になっている状態で）
記事投稿画面の上の、ショートコードを挿入をクリックします。



このようにたくさんありますので好きなものを選んでいただきます。

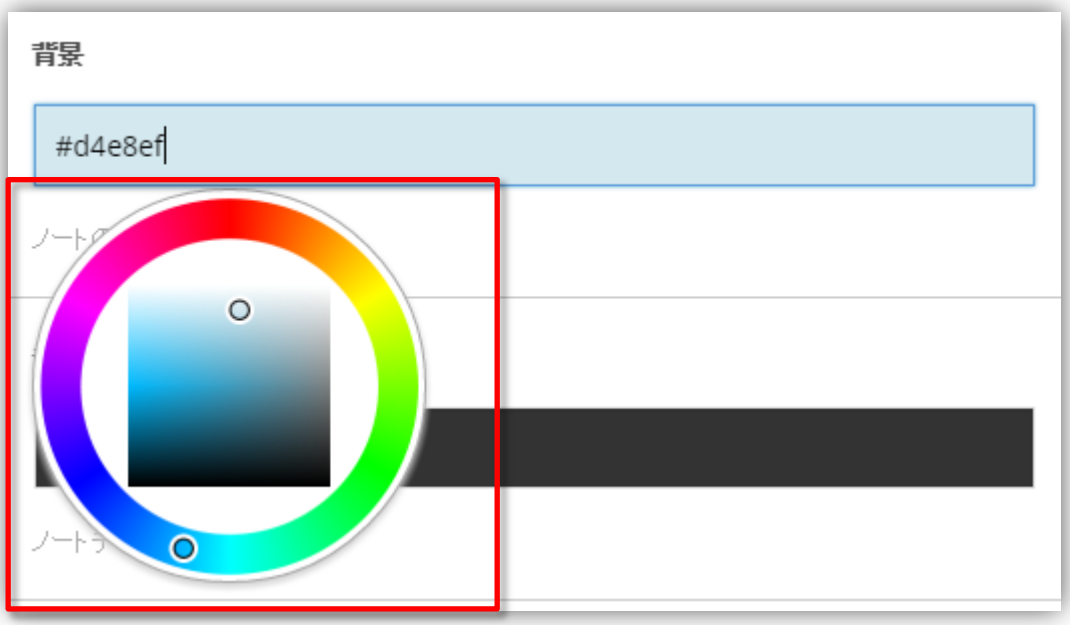
が、多くありますので＾＾；よく使いそうなものをご紹介します。



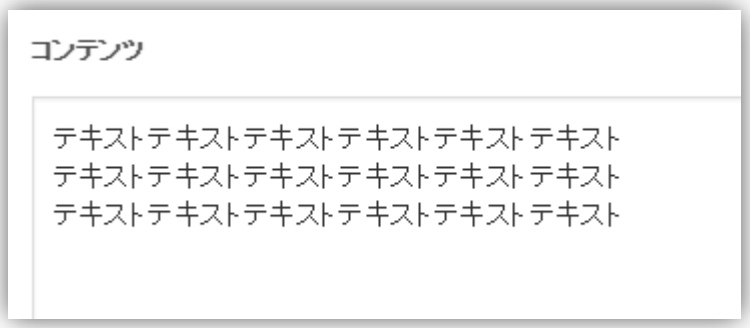
ノート　（説明は次ページ）

■ ノート

赤枠ゾーンのどこかにカーソルを合せてクリックしますと、
色パレットが表れますので、好きな色をカチカチとクリックして選んでいきます。

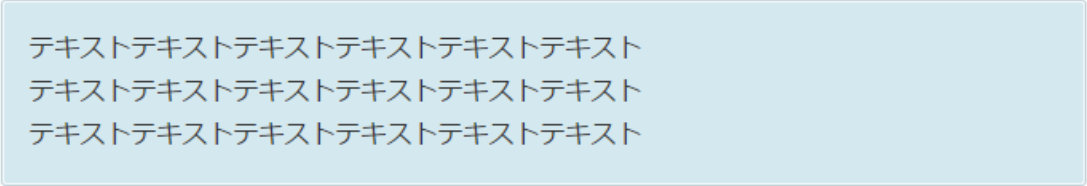


コンテンツのところに枠で囲みたい文章を入れます。



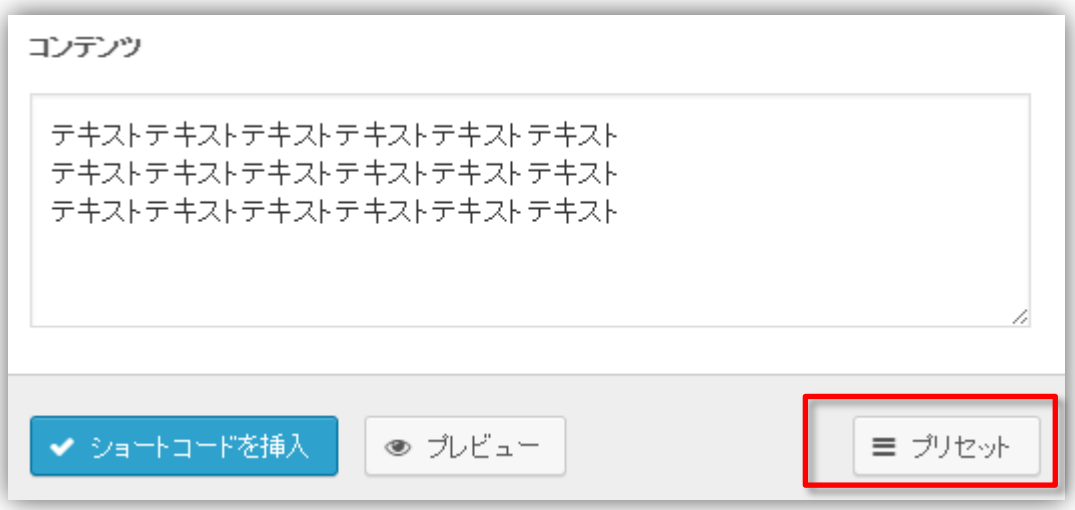
最後にショートコードを挿入　をクリックします。

実際に投稿すると、このような見た目になります。



もし、この設定が気に入った（この色合いが気に入った）
という場合には、プリセットをしておきましょう。

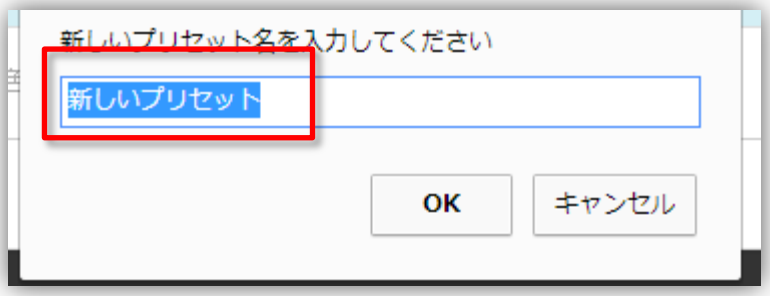
一番下の右下にプリセットボタンがあります。
こうすることで、色んなパターンをプリセットボタンで保存したり
呼び出したりすることができます。

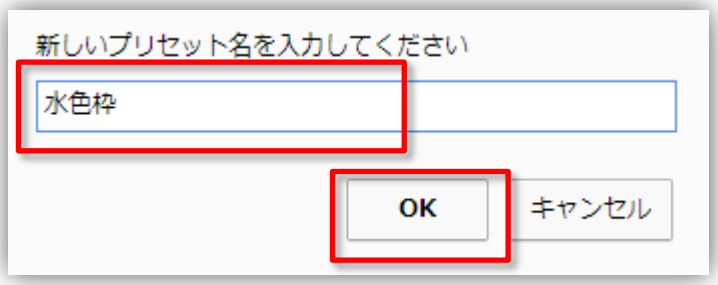


「現在の設定をプリセットとして保存」をクリックします。

新規ウィンドウが表示され、新しいプリセット名を入力してください。

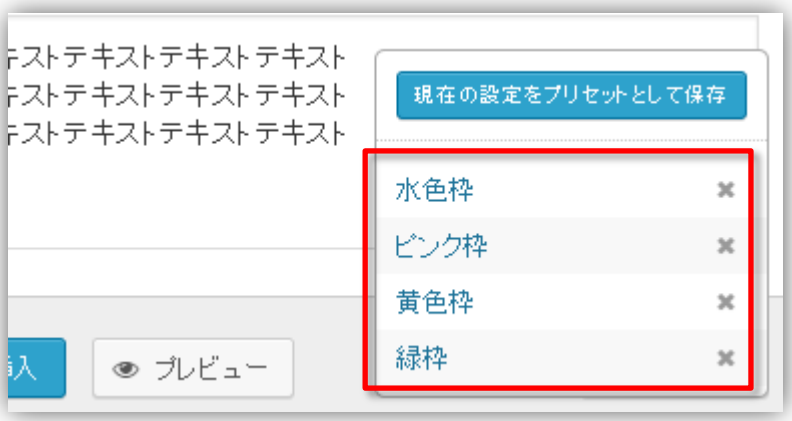
と出ますので、自分がわかりやすい名前でつけておきます。





いくつかのパターンを登録しておくと、以下のように

プリセットの欄から登録しておいたものを呼び出すことができます。



■ **ボックス**

ボックスもノートのように文章の囲み枠になりますが、
ボックスと違うところは、見出しの帯がついたボックスになる
という部分です。

○○を解消する方法

テキストテキストテキストテキストテキストテキスト
テキストテキストテキストテキストテキストテキスト
テキストテキストテキストテキストテキストテキスト
テキストテキストテキストテキストテキストテキスト
テキストテキストテキストテキストテキストテキスト
テキストテキストテキストテキストテキストテキスト
テキストテキストテキストテキストテキストテキスト
テキストテキストテキストテキストテキストテキスト
テキストテキストテキストテキストテキストテキスト

スタイルや色も変えることができます。

○○を解消する方法

テキストテキストテキストテキストテキストテキスト
テキストテキストテキストテキストテキストテキスト
テキストテキストテキストテキストテキストテキスト
テキストテキストテキストテキストテキストテキスト
テキストテキストテキストテキストテキストテキスト
テキストテキストテキストテキストテキストテキスト

■　ハイライト

重要、目立たせたいところにマーカーを引くことができます。

マーカーの色は黄色のみでいいと思います

（他の色のマーカーは変なのでやめましょう）

これが～いちばん大事～～♪

テキストテキストテキストテキストテキストテキスト
テキストテキストテキストテキストテキストテキスト
テキストテキストテキストテキストテキストテキスト

■　ラベル

重要 テキストテキストテキストテキストテキストテキスト

注意！ テキストテキストテキストテキストテキストテキスト

＊アイコンの中の文字は自由にできます。

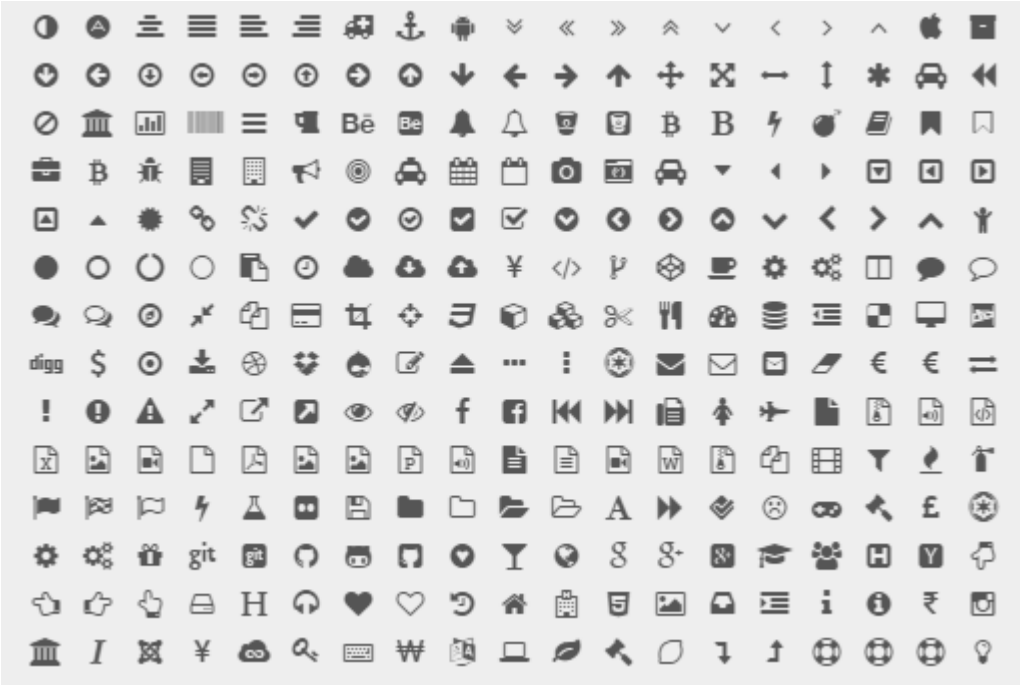
■ リスト

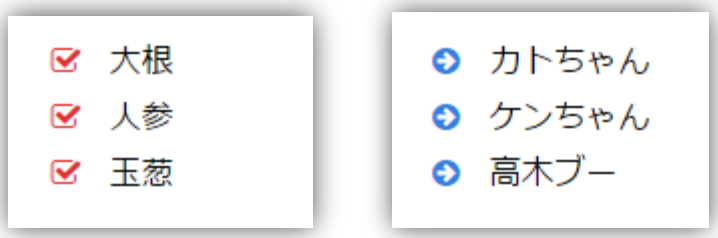
アイコンピッカーから選択すると、

自分で、各行の先頭のアイコンを選択できます。色も選択できます。

アイコンピッカーはこんなに選択肢がっ！

（ここに全部載せきれていません。まだまだあります　汗）





他にも機能はまだまだたくさんありますが、

文字装飾系で使えるのはこのくらいかなと思います。

これ以上やるとくどくなるかなと思います。

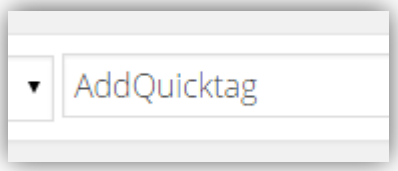
また、あまりにも機能が多く、いじっているうちに楽しくなってきますが、

日が暮れてしまいますので、ほどほどにしておきましょう。

■ あらかじめタグを登録しておける AddQuicktag

ダッシュボード→プラグイン→新規追加

右側のプラグインの検索という欄に、AddQuicktag を入力してください。



入力したらそのままエンターキーを押して検索します。

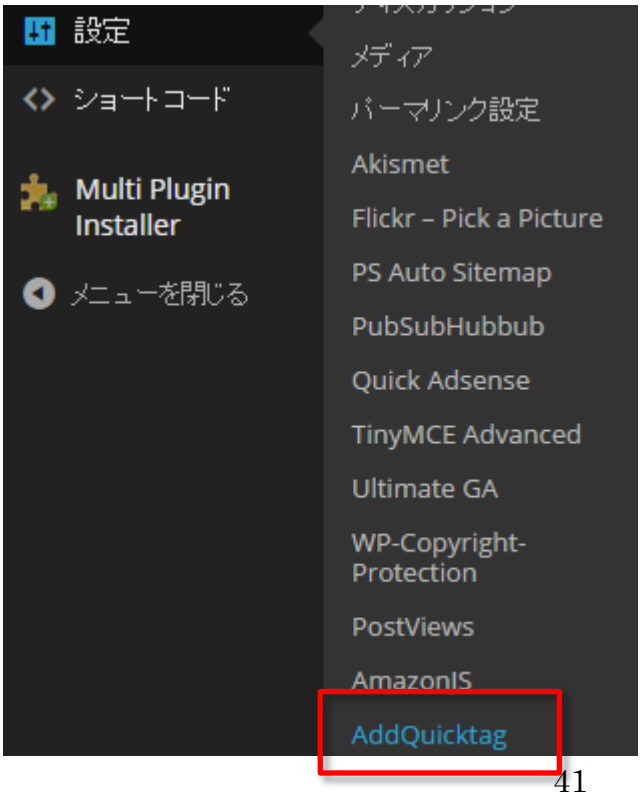
検索で見つかったら　「いますぐインストール」をクリックします。

インストールが完了したら「有効化」をクリックしてください。

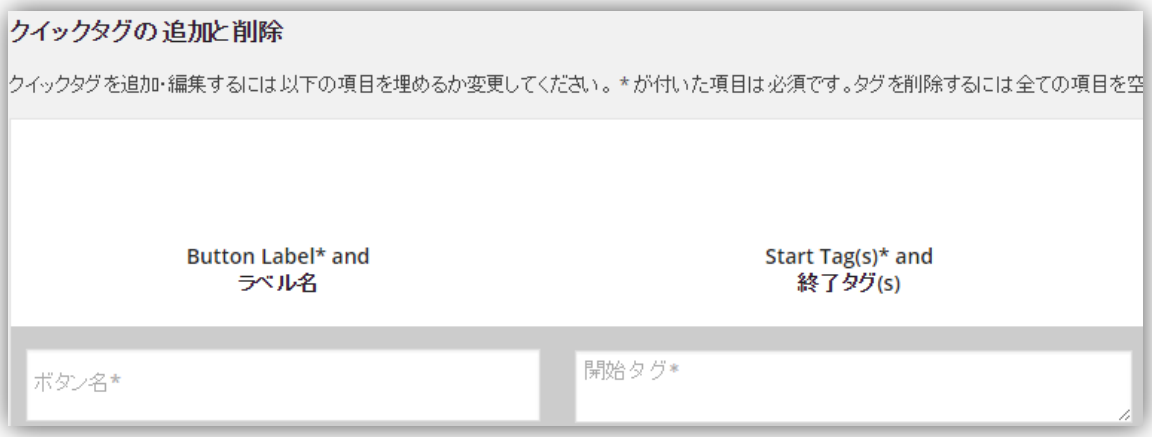
あらかじめ使うコードや<h3>タグなど、
頻繁に使うタグ（文字列）をあらかじめ登録しておき、
無料ブログのように、ワンクリックボタンで装飾を施すようにできる
プラグインです。
ここによく使うタグを登録していきます。

従来であれば手動で１個ずつタグを登録していくのですが、時間がかかりますので、推奨のタグをご用意させていただきました。
ファイルをインポートすれば推奨タグは登録されます。

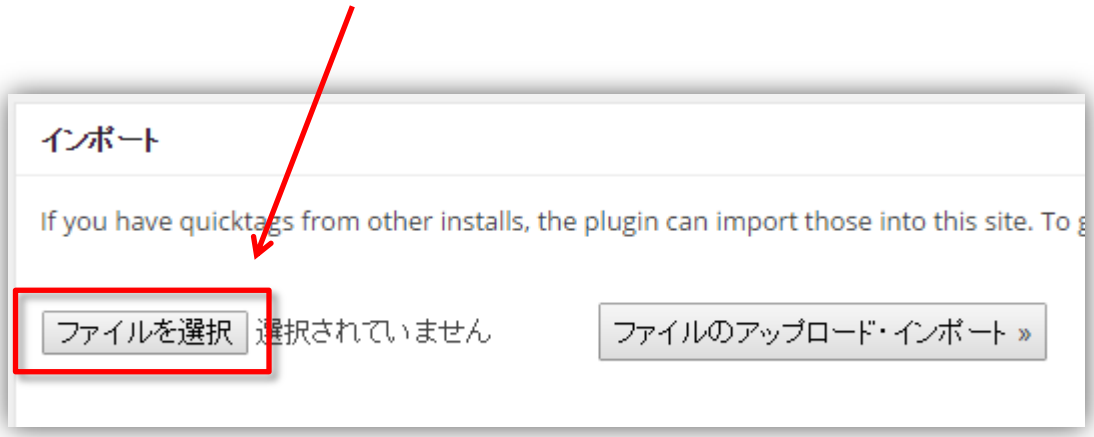
ダッシュボードの設定→AddQuicktag を選択します。



この画面が出ますが、今回は無視して下までスクロールしてください。

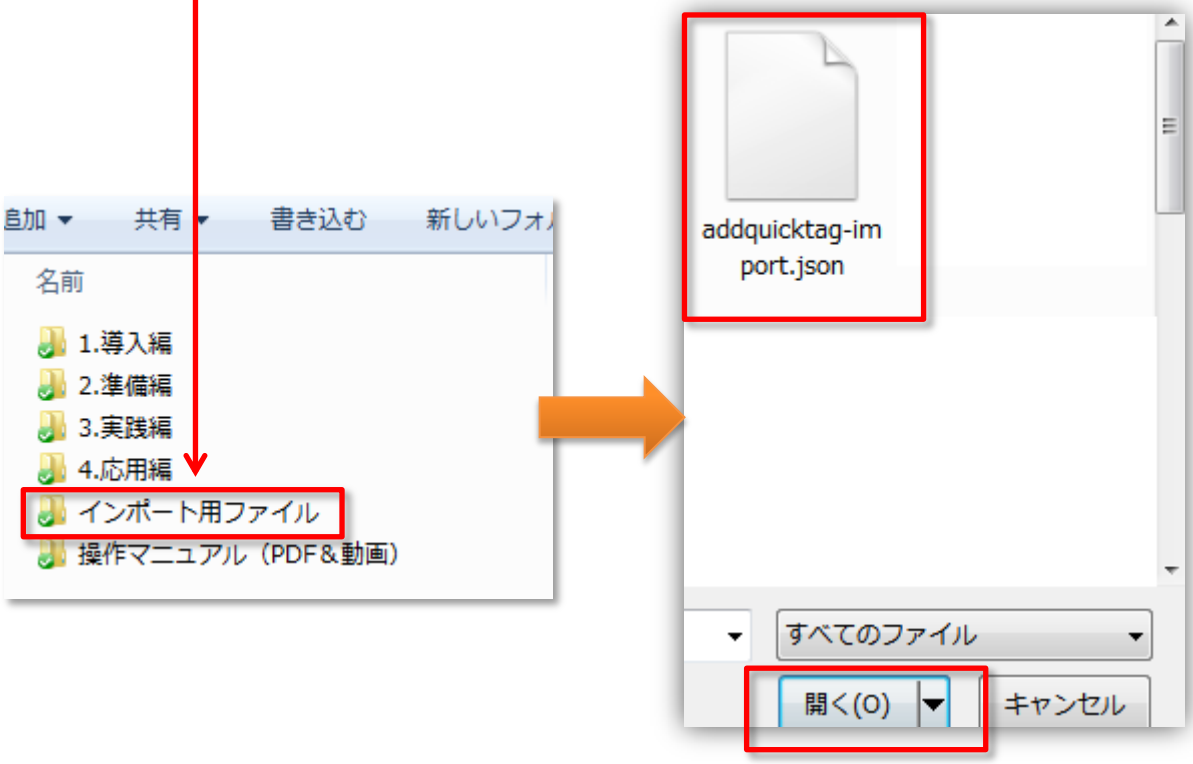


インポートの欄の「ファイルを選択」をクリックします。

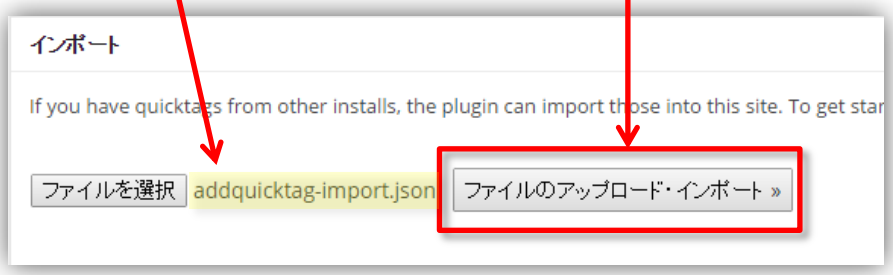


「インポート用ファイル」フォルダの中に、addquicktag-import.json というファイルがありますのでこちらを選択して「開く」ボタンをクリックしてください。

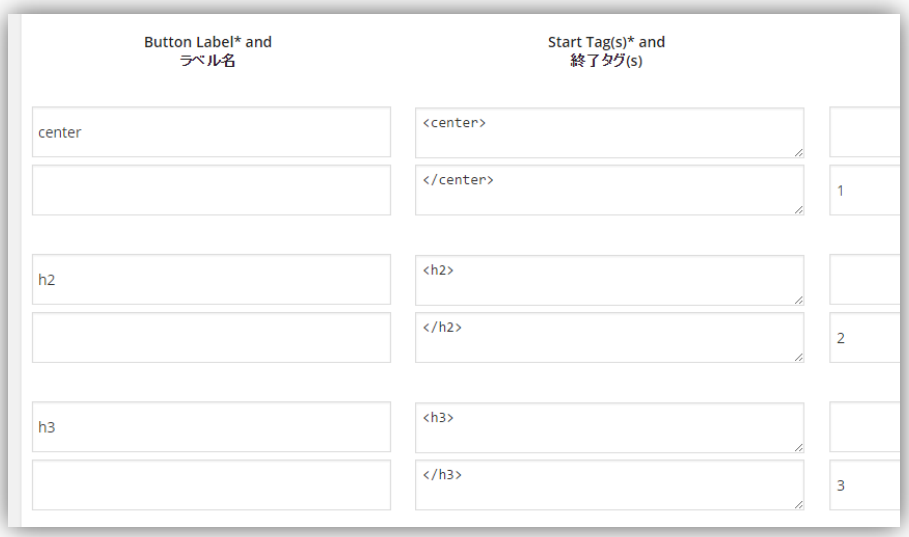
＊このファイルは開いて自分の目で読むことはできません。
この場でインストールするためのファイルになります。



こちらでファイルが選択されている状態になっていることを確認し、
ファイルのアップロード・インポート　をクリックします。



そうしましたら、このようにデータが反映されましたので「変更を保存」をクリックしてください。



今回インポートで入れていただいたタグは以下になります。

中央寄せタグ：center

見出しタグ：h2,h3,h4 タグ

赤太文字タグ

蛍光タグ（黄色マーカー）

黄、赤、緑、紫枠

グレー点線枠、赤点線枠

となっております。

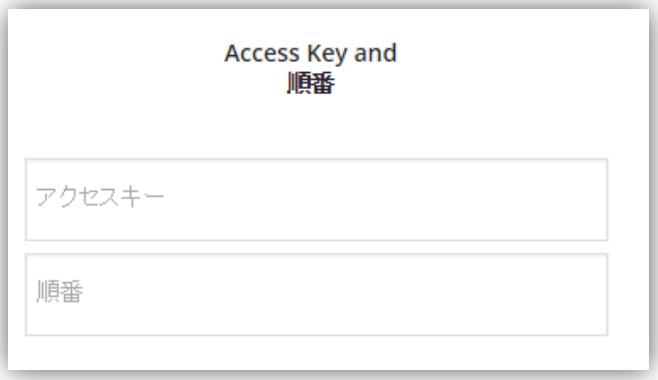
不要な場合はタグが書かれているところを消して　「変更を保存」すれば消えます。

囲み枠や蛍光タグなどは Shortcodes Ultimate にもその機能がありますが、お好きな方をお使いください。

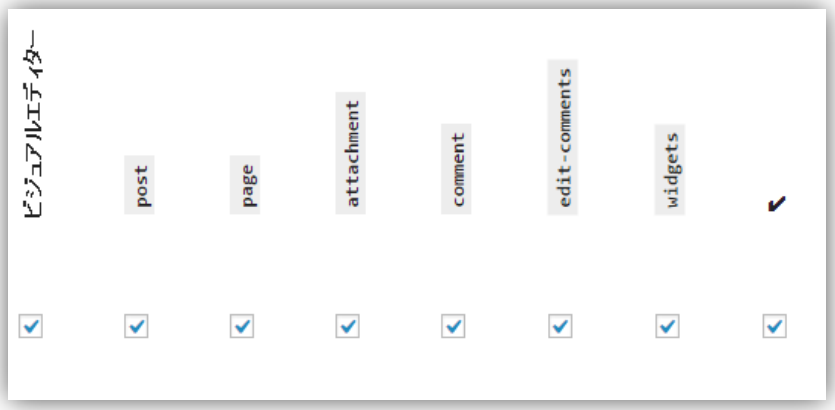
■　自分で手動でタグを追加したい場合

他に自分でタグを追加したい場合の手動追加方法を以下より説明しますね。

ここは順番を指定したい場合のみ入力すると良いです。空欄にすると保存した時に自動的に順番が割り当てられます。



すべてにチェックを入れます。一番右のチェックマークにチェックをつけると、すべてにチェックマークが付きます。



この要領でよく使うタグを登録していきましょう。

１個のタグを投稿したら、変更を保存

を押します。

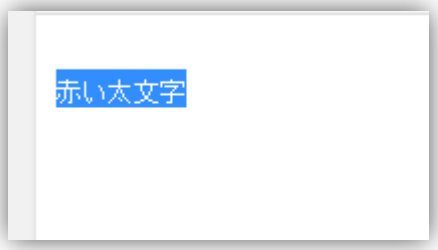
そうしますと、次の新しい入力欄が出現します。

少しめんどくさいですが１個入力して保存、また１個入力して保存

を繰り返していくことで複数のタグを登録できるようになります。

■ *AddQuicktag* の使い方

投稿の際にこのボタンを押すだけでタグで囲むことができるようになります。
タグで囲みたい文字（文章）を選択して青色反転させます。

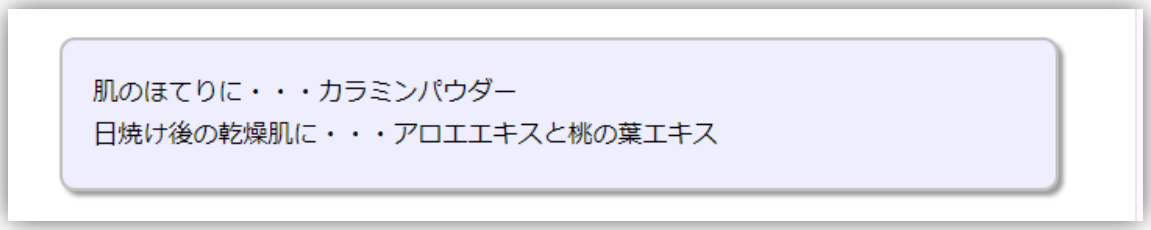


その後、囲みたいタグのボタンをクリックします。

```
<strong><span style="color: #ff0000;">赤い太文字</span></strong>
```

このようにタグで囲まれました。

枠を使った場合は、このような見た目になります。（以下は、紫枠の例）



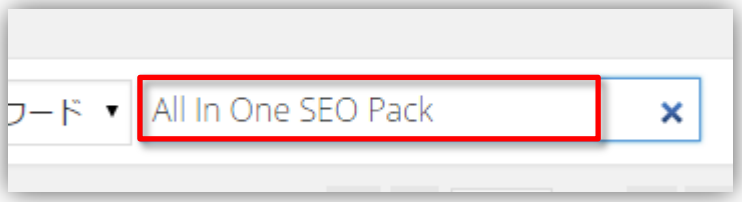
自分がよく使う（使いたい）装飾を追加設定しておきましょう。

■ Wordpress の SEO 対策に有効な All In One SEO Pack

※テンプレート（外観）によっては、テンプレートの機能の中にこれと同じものが搭載されている場合があります。その場合は重複してしまいますので、こちらのプラグインは追加しないで OK です。
（もしくは追加してしまった後に機能の重複に気づいた場合、有効になっているこちらを停止もしくは削除していただければ大丈夫です）
ちなみに、ここのテンプレートインストール例で取り上げた simplicity2 は、被っている機能が初期段階から搭載されていますので All in One SEO Pack は停止しましょう。（新規追加しなくて良いです。）

ダッシュボード→プラグイン→新規追加

右側のプラグインの検索という欄に、All In One SEO Pack を入力してください。



入力したらそのままエンターキーを押して検索します。

検索で見つかったら　「いますぐインストール」をクリックします。
インストールが完了したら、有効化をクリックしてください。

有効化のボタンを押すと、このようにアップグレード（Pro 版）の宣伝が表示されることがありますが、無視してもらってかまいません。

All in One SEO Pack はワードプレスでの SEO 対策でも知られている
プラグインです。
こちらは投稿する個別記事に対してタイトルと説明文の設定をすることが
できます。

通常ですと、個別記事のタイトルを設定したら、
それがそのまま HTML に記述するタイトルとして設定されますが、
All in One SEO Pack を入れることにより、サイト上で表示させるタイトルと
HTML に記述するタイトル（Google に読み込ませるタイトル）を
それぞれで別々に設定することができます。

※サイト上で表示させるタイトルと
HTML に記述するタイトル（Google に読み込ませるタイトル）は、どう違う？
ということについて、もう少し詳しくお話すると、
例えば、
A 記事を見ていて、右サイドバーに印象的なタイトルがあると
そっちもクリックして見たくなります。

ここで見えているタイトルは　「サイトで表示させるタイトル」です
しかし、　印象的なタイトルだけを意識してキャッチーなタイトルを
つけてしまうと、Google 検索上では、キーワードになかなかヒットしないので、
検索上位にあがりにくくなります。

同じ記事でも、サイト内で見せるキャッチーなタイトルと、
Google に認識してもらいやすいタイトル
（上位表示されやすいキーワードを意識したタイトル）を別々に付けた方が
良いということで、この All in One SEO Pack の機能があります。
（All in One SEO Pack の方に入れるタイトルは Google に認識させる
タイトルになります。）

また、WordPress では、メタタグ（キーワード）やメタディスクリプション
（サイト説明文）はサイト１つに対しては設定できるものの、
個別記事単位それぞれにおいては設定できないことになっています。

ですが、Google にしっかりと個別記事の内容を認識してもらうために
個別記事ごとにメタディスクリプションがあった方が良いです。

この、個別記事ページごとにメタタグ（説明文）の設定もできるようになるの
が、　All in One SEO Pack　の機能になります。

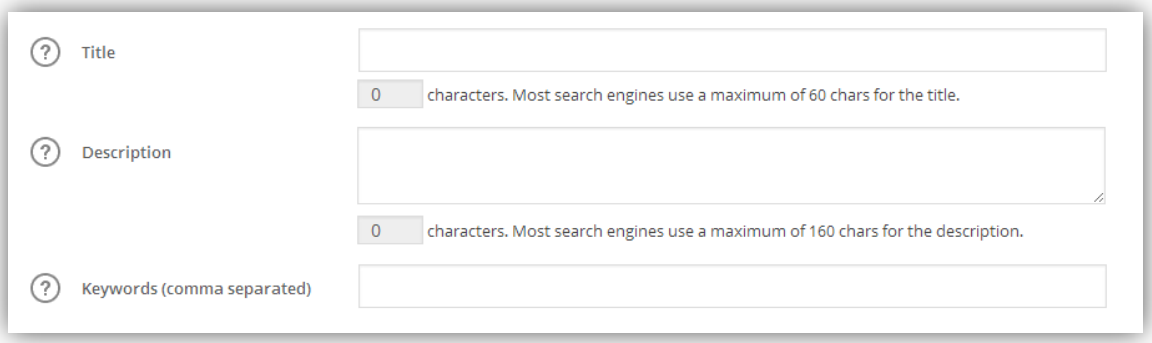
また、Google+ でのご自身の情報を設定できるようになるので
検索結果でも写真付きで表示できるなど、目に留まるきっかけとなる策を施す
ことができます。

■ *All in One SEO Pack* の使い方

＜新規記事投稿画面での使い方＞

新規記事を投稿する時、下の方に設定画面が出てきますのでこちらの

記入について説明していきます。



Title：HTML に記述するタイトルを書きます。

Description：記事の説明文を書きます。

（私の場合は、記事の冒頭部分をコピーして入れています）

Keywords:狙っているキーワードを入れます。

キーワードが複数個ある場合には、半角カンマで区切ります。

キーワードは最大３個までにしましょう。

例）

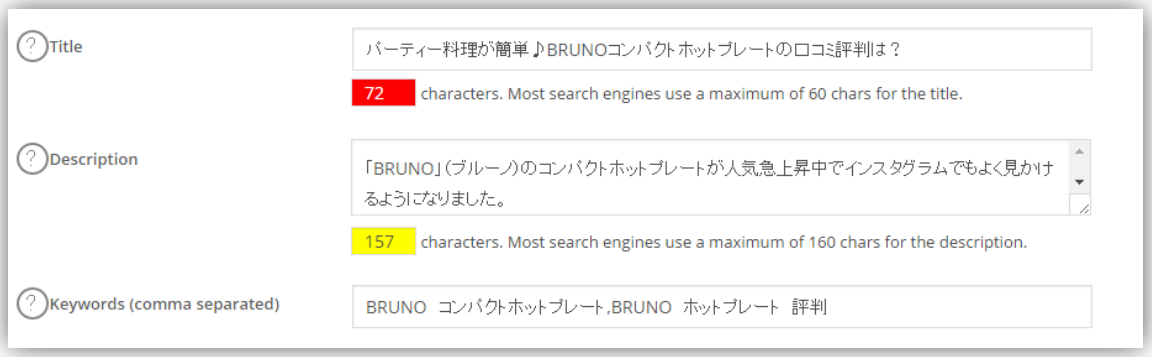
BRUNO　コンパクトホットプレート

BRUNO　ホットプレート評判

の場合は、

BRUNO　コンパクトホットプレート,BRUNO　ホットプレート評判

のように、　↑　語句の間に半角カンマを入れます。

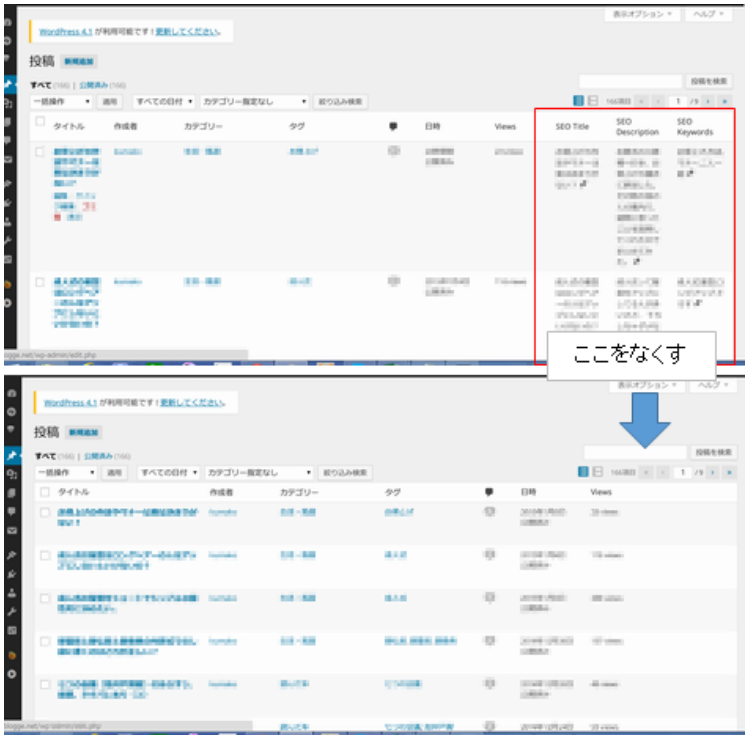


All in One SEO Pack の使い方は、ネット上でもかなり出ております。
詳しく知りたい場合には検索してみてくださいね。

All in One SEO は SEO を考える上でも非常に有利で便利なプラグイン
なのですが、これにも少し難点があります。

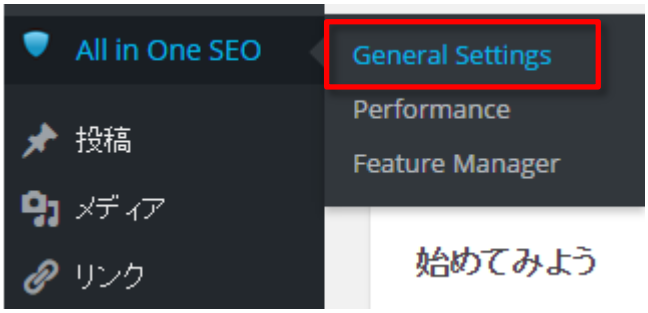
それは、投稿一覧で全体を見ようとした時に、All in One の設定内容が
表示されることで 1 記事ごとの幅が広がってしまい、
全体が一度に見渡しにくくなることです。
このような感じで、 1 記事ごとの幅が広く、全記事を一度に見れない・・・汗

これをギュッと縮める方法があります。

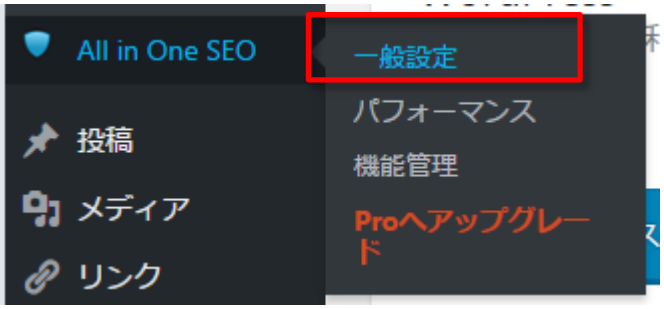


WordPress 管理画面（ダッシュボード）内にて

All in One SEO → General Settings をクリックします。



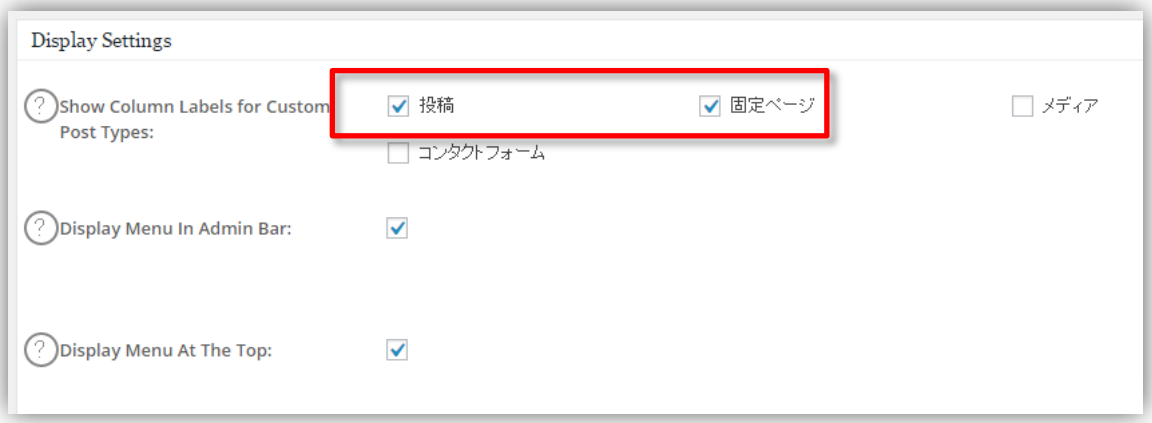
※英語でない場合は、一般設定をクリックします。



ずっと下の方にスクロールしていき、

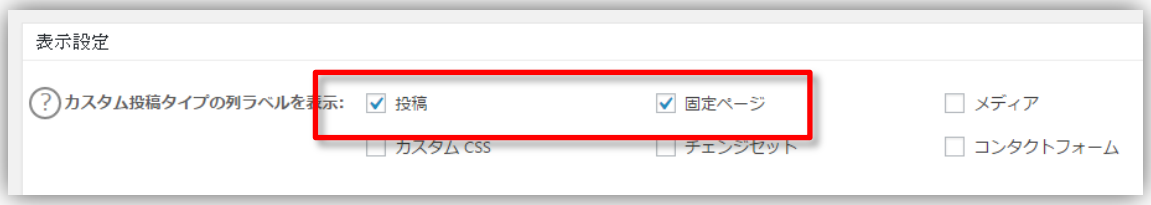
Display Settings のところの

投稿　と　固定ページ　のところにあるチェックを外します。



※表記が英語でない場合は、表示設定のところの

投稿　と　固定ページ　のところにあるチェックを外します。



チェックを外したら、「設定を更新」をクリックします。

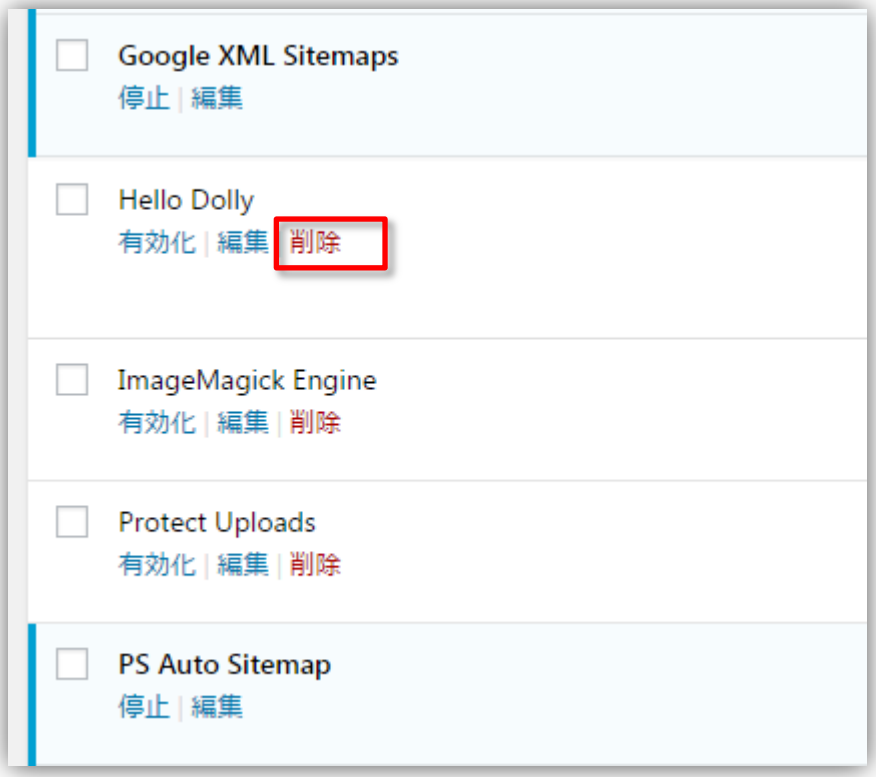
以上でプラグインのインストールは、すべて完了しました。

■ インストール済みプラグインに出てくるリストについて

プラグイン　→　インストール済みプラグインの画面で
出てきたプラグインリストを見ると、
自分がインストールした覚えのないものが入っています。

これは、WordPress をインストールした時にデフォルトで自動的に入る
プラグインリストですので、気にしないでください。

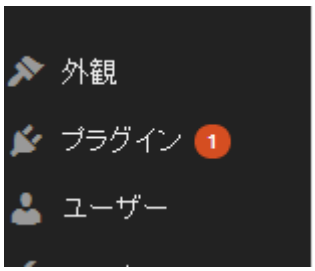
また、これらのプラグインは不要ですので、
管理画面上にあると、邪魔に感じる場合は
削除ボタンを押して削除しても大丈夫です。
（削除してもしなくてもどちらでも良いです。）



■ プラグインのアップデートについて

Wordpress のプラグインはかなりの頻度で更新（アップデート）があります。

アップデートがありますと、
管理画面にログインした際にこのような表示が出てきます。

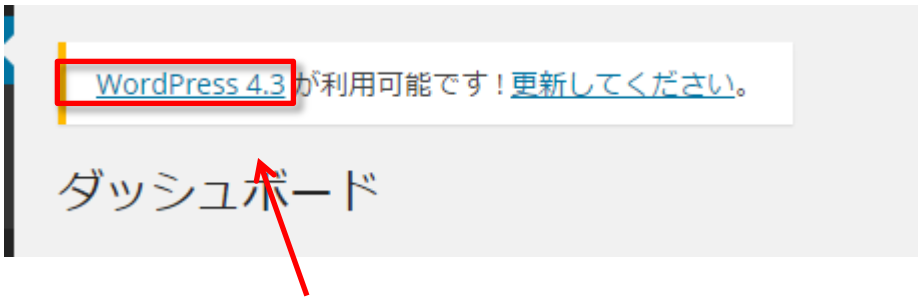


このようになっていましたら、プラグインをクリックしてください。

このプラグインがアップデートされていたようです。
アップデートという箇所をクリックします。

そうしましたら、更新を開始してくれます。
この更新作業はすぐに終わります。

WordPress の更新について
WordPress も頻繁にアップデートされていきます。
ただ、下記のようなケースはご注意ください。



上記の例は WordPress4.3 が利用可能です
とあります。更新すると、WordPress4.3 となります。

注意が必要なのは、この 0.1 単位でのアップデートがあった時です。

どういう時かというと

4.3
4.4
4.5

などです。

これらのアップデートは大幅なアップデートになり
こういった大きなアップデートがあると、プラグインなどがそのアップデートに追い付いていない場合も多く、不具合を起こしてしまうことも多々あります。

このアップデートに他のプラグインや機能が追いついてきてくれるのが、
WordPress4.3.1
WordPress4.3.5

などのように、0.01 単位でアップデートされた時です。

こういった時は、比較的対応が追いついてくれているので不具合も少なくなっています。

もし、自分で更新するなら、この、0.01 単位でのアップデートかどうかというのを常に確認して行うようにしましょう。
更新の表示は常に出てしまって気になるかもしれませんが、ここはグッとこらえます。

WordPress のバージョンアップデートがあった場合には
特にこの数字に注意して見ておいてください。

0.1 単位でのバージョンアップは更新しなくて OK です。
様子見しておきましょう。

また、プラグインと違って WordPress はアップデートがあっても更新は頻繁にしなくて OK です。
自動的に（勝手に）WordPress 側で更新されてしまうこともあるのですが、
自分では頻繁には更新はしない　ということで覚えておくと良いでしょう。

■ プラグインはあくまでも補助的なもの

これまでにプラグインをいくつかご紹介させていただきましたが、
「プラグインというのは、補助的なものであって、それが全てではない」
ということを心得ておかないといけません。

と言いますのも、各プラグインは、有志の方によって提供されているものになります。
誰かがお金を払ってお願いしているものでもないですし、言わば、開発を進めるも止めるも、修正するも修正しないも製作者の自由と言えばそれまでなんですね。

そのプラグインによっては、新しい WordPress のバージョンに対応していなかったり、プラグインの更新自体が何年も止まっているものもあります。

いつ使えなくなってもおかしくはないし
いつ不具合が起きてもおかしくはないのです。

ここで紹介させていただいたプラグインも、
いつ使えなくなるか、不具合が起こるかわかりませんが
もしそのようになった場合でも

プラグインはあくまでも補助的なものであってこれが全てではない

ということさえ覚えておいていただければ、そのプラグインに固執しすぎることもなくなりますし、
他の代替えになるプラグインを用意するという選択肢も取れます。

プラグインで該当するものがなくても、他の方法で代替えになる場合もあります。

ですので、プラグインとは、いつおかしくなっても仕方ないものであること、
WordPress を扱っていくにあたり便利だから使わせていただいている
と割り切って利用させていただくようにしましょう。
以上　大事な部分をお話させていただきました。

こちらでプラグインの解説は以上になります。
ありがとうございました。